

# 平成29年度子ども読書活動実績報告書

## 1 子育て支援施設・保育所・幼稚園における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
社会教育課	絵本の読み聞かせ	①4月19日(水) ②7月19日(水) ③10月18日(水) ④1月24日(水)	中央保健福祉センター	妊娠中期の初妊婦	絵本を通して子供と向き合い、子供の心を育んでもらうとともに、子育ての楽しさを知ってもらう。	①20人 ②14人 ③17人 ④17人	出産を控え、絵本の読み聞かせに関心はあるが、どのような本を選んだらよいのか、どのように読み聞かせをすればよいのか等、具体的なことを知るきっかけとなっていることから、今後も実施する。
		①6月15日(木) ②9月21日(木) ③12月19日(火) ④3月15日(木)	鳴尾保健福祉センター			①18人 ②20人 ③18人 ④23人	
		①4月17日(月) ②6月19日(月) ③8月28日(月) ④10月30日(月) ⑤12月18日(月) ⑥2月26日(月)	北口保健福祉センター			①20人 ②29人 ③12人 ④27人 ⑤28人 ⑥27人	
		①6月14日(水) ②12月13日(水)	塩瀬公民館			①4人 ②2人	
		①9月21日(木) ②3月22日(木)	山口保健福祉センター			①0人 ②10人	
		地域保健課	絵本の読み聞かせ			乳児相談実施日(年11回)	
乳児相談実施日(年11回)	北口保健福祉センター			159人			
保育所事業課	保育園こども図書館	週1回	民間保育所	在宅親子、在園親子	保育所で絵本の貸出しを行い、子供の年齢や興味にあった絵本を提供することで、子供の読書活動を推進する。	—	平成29年度は11園で実施し、毎年継続して行っている。在宅の親子でも利用でき、家庭での絵本をとおした触れ合いの機会を提供している。
	スマイル体験	年2回	公立保育所	在宅親子	保育所で一緒に遊びながら絵本を楽しみ、子育て相談などを通して家庭でも絵本に親しめるようにする。	—	公立保育所23カ所全園で実施した。子育て相談に来られる方も多く、機会があれば絵本の読み聞かせなども推奨するようにしている。
子育て総合センター	チャレンジ研修 絵本と読み聞かせ ワークショップ	10月28日(土)	子育て総合センター	保育所、幼稚園・小学校教諭、乳幼児期の教育に携わる職員	絵本を好きな子供が一人でも多く育つことを願い、子どもの心を育てる絵本の読み聞かせなどのスキルを高めていく。	32人	絵本が好きな子供が育つよう、読書へのアニメーションの定義や手法を学び、実際にワーク活動を行うことで、参加者のスキルアップにつながった。
	人形劇	12月7日(木)	子育て総合センター	就学前の子供、保護者	親子そろって、人形劇の楽しさに触れるとともに親子での共有体験の機会とする。	152人	人形劇を楽しんで見ている子供が多く、保護者も子供に合わせて遊ばせながら、ゆったりとした気持ちで参加していた。
	えほんとのであい…うふ・うふうふ	毎週木曜日	子育て総合センター 附属あおぞら幼稚園	就学前の子供、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ読書に親しみを持つ。	1,425人	図書ボランティアやぶんぶんブックサークル等の絵本の読み聞かせにより、保護者が読み聞かせの参考にしたり、親子で絵本に触れる機会となった。
	絵本室の開放	月～金 14:00～16:00 土日、幼稚園の休業日10:00～16:00	子育て総合センター 附属あおぞら幼稚園	就学前の子供とその保護者	就学前の親子が色々な絵本に親しんだり、親子の関わりを楽しんだりする機会とする。	—	静かな空間のもと、少人数で過ごせる利点があり、親子の癒しの場となった。また、多くの絵本と出会う場となった。

2 学校における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
学校園等	西宮市小・中学生読書感想文コンクール	夏休み前後～9月末	各小中学校	児童、生徒	本に親しみ読書の習慣化を図る。また読書の感動を文章に表現することを通して豊かな人間性や考える力、自分の考えを表現する力を育む。	—	小学校では各学年1点の作品を、中学校では校内の読書感想文コンクールにおいて代表を各校4点まで選び、市の読書感想文コンクールに出品した。児童生徒が本に親しむ機会となるだけでなく、読書の感動を自分なりの文章で表現することを通して、表現力や思考力、豊かな人間性を養うことにもつながった。
	中学生読書会 図書委員の集い	8月22日(火)	上甲子園中学校	生徒、保護者	同じ一冊の本を読んで、感想等を意見交流し、読書の楽しみを広げるとともに、豊かな感性を培う。	80人	「夜間中学へようこそ」(山本悦子作/岩崎書店)について意見を交流した。同年代のもの見方や考え方を知らずだけでなく、保護者との考え方の違いに気付くなど、自分自身を見つめ直すよい機会となった。図書委員の集いでは、日頃のよりよい図書館作りを目指した取組みを交流することが互いの刺激となり、今後の委員会活動の充実につながる会となった。
	小学生のふれあい読書会	10月25日(水)、11月1日(水)、11月8日(水)	各小学校(12校)	児童、保護者	同じ本を読んで感想等を意見交流し、読書の楽しみを広げるとともに、豊かな感性を培う。	396人 (児童223人、保護者173人)	「つばさ」(大島里恵作/文研出版)を題材として取り組んだ。まず、各校で読書会を行い、深く読み合うことや語り合うことを通して思考力・想像力を広げる場を持った。次に、各校代表が市内12ヶ所で行われる読書会に参加し、保護者や他校の児童と生き方や考え方について交流した。自分の考えを表現し合う場を持つことが読書活動の幅を広げ、読書意欲の向上につながった。
	読書感想画コンクール	冬休み前後	各小中特別支援学校	児童、生徒	読書による感動を絵画表現することにより、読書力・表現力を養い、読書の活動をすすめるとともに、豊かな感性を培う。	—	読書による感動を絵で表現することが、児童生徒の読書力や表現力を養うことはもちろん、さらなる意欲向上にもつながった。
	学校図書館指導員配置	通年	各小中特別支援学校	児童、生徒、教職員	児童生徒の理科・科学関係図書の活用促進に向けて、各校の司書教諭(学校図書館教育担当者)と学校図書館指導員等の連携を支援することにより、児童生徒の読書環境の充実を図る。	40人 (配置)	学校図書館の管理運営に関する補助として、環境整備やデータベース化の推進等、学校図書館の充実を図る活動を行うとともに、児童生徒の調べ学習等の支援や学習に活用できる図書情報の提供を行った。子供と本をつなぐ上で、欠かせない存在となっている。
	教科指導等相談事業 (学校図書館活動等)	通年	各小中特別支援学校、各幼稚園	全園児、児童、生徒、教職員	読書活動を広げ、読書体験を深める。	22校園	幼稚園、小学校低学年を中心に、講師による読み聞かせなどを実施し、本の楽しさを伝える場となった。また保護者を対象にした講座を実施するなど、家庭での読書指導や読書環境作りのヒントにもなった。
	読書の達人認定	通年	各小学校	児童	自ら意欲をもって読書し、読書習慣の日常化を図る。	47,751枚 配付	「読書の達人認定証」を受け取った児童の喜びの声や意欲の高まりが学校から伝わってきている。今後も更なる啓発を行い、児童の読書活動定着を促したい。
	各学校園でのイベント支援	通年	各小中特別支援学校、各幼稚園	園児、児童、生徒	各校独自の読書活動に係るイベントを支える担当職員や学校図書館ボランティア等を支援する。	81校園	読書活動を支援するイベントは、学校図書館ボランティア等を中心に、各学校園ごとに工夫した取組みが行われている。今後も、学校図書館教育担当者研修会や学校図書館指導員学習会、小・中教研学校図書館教育部会において交流しながら、各校の取組みを支援したい。

3 図書館における読書活動の推進

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
中央図書館	みんなでたのしもう！ おはなしいろいろ はるのまき～	4月16日(日)	中央図書館	概ね5歳～、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	21人	子供だけで聞くのではなく、親子で一緒に楽しめるおはなし会のため、通常のおはなし会とは違った楽しみがある。絵本の読み聞かせだけではなく、手遊び指遊びを交えたり、少し年齢が上の子供たちを対象にするストーリーテリングなど、いつもより特別だと感じてもらえるプログラム構成になっている。
	「読んでごらんおもしろいよ」図書展示	7月7日(金)～7月17日(月・祝)	中央図書館	幼児、小中学生、保護者	図書目録「読んでごらんおもしろいよ」の本の周知・貸出促進。夏休みの読書活動の参考とする。	—	図書目録のみで本を選択するのではなく、実際に本を手に取り、装丁や本の厚さ、文字量なども確認することで、夏休みの読書の楽しみや期待を膨らませることができた。また、課題図書も同時に展示しており、同時にいろいろな本を読み比べてもらえる機会にもなっている。
	第15回みんなで楽しむストーリーテリング	7月28日(金)	中央図書館	概ね5歳～小学生	親子でストーリーテリングを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	20人	ストーリーテリングは本を見ずに、おはなしを聞いて物語の世界を想像してもらうため、小さな子供には少し難しかったり退屈であったりする。短いおはなしを多くしたり、場面転換の多いおはなしを取り入れるなど工夫して実施する必要がある。
	第5回図書館を使った調べる学習講座	講座 ①6月4日(日)、②6月18日(日)、③まとめ8月17日(木) 相談会 6月25日(日)、7月9日(日)、7月25日(火)、8月4日(金)	中央図書館	小学3年生～中学生	調べることを目的にした図書館利用を促進し、図書を使った調べ方・まとめ方を学ぶ。	25人	応募者は32名と前回に比べて増えた。この講座が年々浸透してきている手ごたえを感じた。とくに小学3年の応募が13名と多く、「調べてまとめる」という単元がこの学年から始まることから、関心の高さがうかがえた。今後も多くの人に、数多ある情報の中から必要なものだけを選び理解しまとめる力や図書館の活用する方法をこの講座で学んでもらいたい。
	きみも一日図書館員！お仕事体験	7月27日(木)	中央図書館	小学3～6年生	小学生向けの図書館の仕事体験行事を行い、この体験を通して図書館に親しみ、活用の仕方についても学んでもらう。	16人	応募者は3・4年からのが多く、図書館への関心の強さを実感した。窓口業務以外にも様々な仕事もあるということを知ってもらえるよい機会なので、これからも継続して行いたい。
	夏のスペシャルおはなし会	8月23日(水)	中央図書館	概ね5歳～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	37人	夏休みということもあって少しこわいお話なども取り入れ、季節感を出している。この行事は職員が開催することでおはなし会の構成や展開について研究する良い機会となっている。
	みんなでたのしもう！！ おはなしいろいろ ～あきのまき～	10月15日(日)	中央図書館	概ね5歳～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	28人	短い話から、聞きごたえのある少し長めの話まで、多彩な内容だった。この行事はおはなしボランティアの活動の場であり、親子で楽しめるという利点もあるので、これからも継続していきたい。
	クリスマスおはなし会	12月20日(水)	中央図書館	概ね5歳～小学生、保護者	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	39人	普段のおはなし会とは違う特別感を意識して実施。会場にクリスマスの装飾を施し、クリスマスに限定したおはなしや手遊びを行った。
	どんな絵本が入っているかな？ ハッピーバッグ	1月10日(水)～21日(日)	中央図書館	0～2歳児 (赤ちゃん向け) 3～5歳児 (幼児向け)	「絵本のゆりかご」「絵本のポケット」の周知。これまで手に取ったことがなかった本に出会う機会とする。	40人	職員が絵本を選び、それを福袋の形にして貸出した。日頃は手に取ることのない作家やジャンルにも興味を示してもらえるよい機会になっている。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
中央図書館	第16回みんなで楽しむストーリーテリング	3月28日(火)	中央図書館	概ね5歳～小学生	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	33人	ストーリーテリングという耳から聞いておはなしを想像してもらう会なので、おはなしを聞く雰囲気や空間づくりを行った。演者・参加者ともにおはなしの世界にしっかり入ってもらえるよう、おはなしボランティアと連携して実施する必要がある。
	おはなし会	毎週水曜日、毎月第3日曜日、第3金曜日	中央図書館	0歳～小学生	親子で絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	349人	職員とおはなしボランティアで開催している。参加者の低年齢化が進んでいるが、30年継続してきた中で、良い思い出となっているなどの声もある。おはなしは子供の空想力を育み、将来の読書につながると考え、継続している。
北部図書館	絵本カバーでしおりづくり	4月23日(日)	北部図書館	幼児～小学生	テーマに関連する身近な話題の中から読書への関心を深めてもらい、図書館利用の促進につなげる。	22人	職員が実施。簡単な工作のため、低年齢の子供の参加が目立つ。事前申込みなしで行ったが、参加者が多く、図書館の利用促進につながった。
	つくろう！あそぼう！かえるぴょん！！	5月28日(日)	北部図書館	幼児～小学生	大型絵本の読み聞かせや、児童書の紹介・本を使った工作をきっかけに読書への関心を深めてもらう。	20人	職員が実施。工作のため参考にした本の紹介や読み聞かせは、低年齢の子供にも配慮した内容だったので、普段は来館しない子供にも参加してもらえた。
	みやたんおはなし会	7月27日(木)	北部図書館前ロビー	幼児～小学校低学年	みやたんを通して郷土への関心を引き出し、読書活動につなげる。	18人	夏の定番事業として定着し、図書館利用の促進につながっている。
	ブックトークと理科実験「やってみよう！静電気のふしぎ」	8月2日(水)	塩瀬公民館	小学生、保護者	夏休みの自由研究の参考となる主題図書の紹介につなげる。	14人	実験を楽しみながら、調べて、試してみるという内容に好奇心をもった子供が多く、夏休みの自由研究の参考になった。
	こわ～い話のおはなし会	8月22日(火)	塩瀬公民館	小学生	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	11人	怪談物のストーリーテリング等を図書館職員とボランティアが行った。夏休みの定番事業として定着しており、普段は来館できない小学生の参加があった。
	ハッピークリスマス	12月16日(土)	塩瀬児童センター	幼児～小学生	クリスマスに合わせた遊びとおはなし会を組み合わせ、読書や図書館に親しんでもらう。	48人	塩瀬児童センターと連携実施。児童センターのクリスマス会の冒頭で職員とボランティアが読み聞かせ等を行った。行事と読書をうまくつなげることができた。
	わゴムでギターをつくろう	1月14日(日)	北部図書館	幼児～小学生	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	15人	子供に好評な楽器をテーマに、読み聞かせや本の展示・紹介、輪ゴムを使ってギターの工作を行った。
	きょうりゅうカレンダーをつくろう！	3月25日(日)	北部図書館	幼児～小学生	テーマに関連する本の紹介と工作を組み合わせ、読書や図書館に親しんでもらう。	30人	「科学道100冊委員会」推薦の資料の展示・貸出と共に関連イベントとして行った。科学絵本などを求める新たな要望に応えることができた。
	おはなし会	毎週日曜日、毎月第2木曜	北部図書館	0歳～小学生	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	363人	おはなしは、子供の空想力をはぐくみ、将来の読書につながると考え、継続している。参加人数の増加を目指したい。
ぽぽデイでのおはなし会	毎月1回	ぽぽデイ(名塩駅前・東山台)	小学生～高校生	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらう。	174人	放課後等デイサービスで実施。職員・ボランティアが工夫を重ねて読み聞かせを行い、子供たちに楽しんでもらえるおはなし会となっている。	

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
鳴尾図書館	お花見おはなし会	4月7日(金)	西開公園	幼児～小学生	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書に親しんでもらう。	24人	開放的な公園で、大型絵本などの読み聞かせを楽しみ、平素とは違った読書環境を提供した。図書館から公園までの移動の際の安全確保に留意する必要がある。
	きのこの紙しおりをつくろう!	4月22日(土)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	子ども読書の日になみ、工作を通して読書や図書館に親しんでもらう。	18人	図書館利用者がボランティア講師として参加。紙しおりを作成し、読み聞かせ等を行った。
	ほんよみ屋さん	4月23日(日)	鳴尾図書館	幼児～小学生	子ども読書の日になみ、読み聞かせを通して読書や図書館に親しんでもらう。	24人	「子ども読書の日」の行事としてボランティアが担当。保護者からは地域から見守られていることを実感できたとの感想があった。図鑑や、物語などおはなし会では読まれない本を読んでもらえる機会を提供できた。
	出張なるおとしょかん	5月13日(土)、14日(日)	ららぽーと甲子園	幼児～小学生	まちライブラリーの一環として図書館をPRする。	60人	職員とボランティアが担当。にぎやかで読み聞かせに集中するのが難しい場所であったが、多くの人が足を止め、図書館の周知につながった。
	フラワーフェスティバル	5月20日(土)	六湛寺公園	幼児～	フラワーフェスティバル参加者に図書館をPRする。	72人	職員とボランティアが担当。「花と緑の課」との連携行事としてテントを借りて読み聞かせを実施。図書館の周知につなげるとともに、読み聞かせの楽しさを知ってもらう機会となっている。
	マレットファン タイの子供たちと絵本	6月10日(土)	鳴尾図書館	小学生、保護者	海外の国と絵本に親しむ。	30人	タイで活動するNPOの職員が同じ絵本をタイ語と日本語で読むなど、言葉がわからなくても楽しめるよう工夫して実施。
	つくってあそぼう	7月15日(土)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	工作と読み聞かせを通して、読書に親しんでもらう。	52人	武庫川女子大学の学生と工作・読み聞かせを実施。幼児教育を学ぶ学生にとっては子供を知る機会となり、子供たちは、職員・大学生と接する機会となった。
	なるおとしょかん子ども夏祭り	8月2日(水)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	2,370人	職員、イベントボランティア、小学校図書ボランティア、自治会等50人余りのボランティアの協力で開催した。多くの参加者があり、毎年楽しみにされている行事である。地域に根差した図書館として今後も継続していきたい。
	としょかんで世界いっしょ!	8月23日(水)	鳴尾図書館	幼児、保護者	外国語の絵本読み聞かせや、言葉遊びを通して異文化に親しむ。	23人	国際交流協会との共催。市内在住のブラジル人、ロシア人から母国の話を聞き、それぞれの国にちなんだ絵本を紹介し、読み聞かせを実施した。異文化を知る良い機会となった。
	よるのとしょかん	9月8日(金)	鳴尾図書館	児童、保護者	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	42人	職員、ボランティア、自治会で担当。初参加の自治会からは好評で、「宮っ子」の取材もあった。自治会の参加もあり地域に根差した図書館として認識されてきている実感がある。子供にとっては、普段入れない夜の図書館はわくわくして楽しい経験であり、図書館の周知につながっている。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
鳴尾図書館	夏休みカウンター	7～8月	鳴尾図書館	児童	夏休みの自由研究の参考となる主題の図書紹介等を通して読書活動を支援する。	—	図書館職員、地域住民、ボランティアで夏休みの子供たちの自由研究や本探しのサポートをする。多くの子供たちが宿題をかかえて来館し図書館利用につながっている。調べる学習として、図書館の利用方法を知る機会にもなっている。
	あかちゃんもいっしょヘルマンハーブの音楽会	10月24日(水)	鳴尾図書館	乳児、保護者	親子で音楽を楽しむことでリラックスしてもらい、図書館利用のきっかけとする。	80人	赤ちゃんへの読み聞かせと、ヘルマンハーブ演奏グループのボランティアによる音楽演奏。乳児を連れた人以外の来館者も音楽を楽しみ、図書館では敬遠される音楽も来館のきっかけとなることを実感した。
	ぬいぐるみのおとまり会	11月1日(水)	鳴尾図書館	幼児～小学生	読書週間行事として、ぬいぐるみを活用し子供の想像力を育む。	32人	子供が持参したぬいぐるみとともに読み聞かせを聞き、その後ぬいぐるみを図書館に預ける。返却時に図書館からお勧めの本を紹介し、本とぬいぐるみを一緒に写した写真を配付。本により親しみを感じる機会となった。
	なるおとしよかんクリスマスおはなし会	12月13日(水)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	40人	ボランティア、武庫川女子大生、職員で担当。通常のおはなし会より多くの、クリスマス絵本のみ読み聞かせを実施。参加者も多く、開催者相互の連携を深めることができた。
	みんなであそぼう	12月16日(土)	鳴尾図書館	幼児～小学校低学年	音楽と読み聞かせを通して読書に親しむ。	54人	武庫川女子大との共催事業。音楽演奏と古典や名作にとられない学生らしい読み聞かせを実施した。
	クリスマスって何の日？	12月23日(土・祝)	鳴尾図書館	幼児～	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	29人	大手前大学の吹奏楽部がボランティアとして参加し、クリスマスソングの演奏や読み聞かせを行った。関連本の展示。
	ほんおみくじ	1月5日(土)～1月14日(月・祝)	鳴尾図書館	幼児～小中学生	自分では選ばない意外性のある本との出会いづくり。	247人	おみくじをひいて本を選び、知らない本との出会いを提供し読書の楽しさを広げることができた。
	中国の絵本を読もう 中国の話をきこう	2月15日(木)	鳴尾図書館	小学生～	同じ絵本を中国語と日本語で交互に読み、外国語の響きや異文化に親しむ。	13人	国際交流協会との共催で、市内の留学中の中国人学生が中国語の絵本を読んだり、中国の正月行事等のお話を実施。異文化に親しむことにより、外国への興味を引出し、異文化についての本を読む機会となった。
	おひなさまおはなし会	3月3日(土)	鳴尾図書館	幼児～小学生	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書に親しんでもらう。	23人	自治会から寄贈を受けた雛飾りの前で、ボランティアがひな祭りにちなんだ絵本の読み聞かせを行った。日本の伝統に触れ、関連する本を読む機会となった。
	なるぞ図書館員	3月28日(水)、29日(木)、31日(土)	鳴尾図書館	小学生	図書館業務の体験を通して、読書や図書館に興味を持ってもらい、親しんでもらう。	16人	1～3年生、4～6年生に分かれてカウンター業務など図書館業務を経験してもらった。31日には高学年生によるおはなし会も行った。図書館の仕事を経験することで図書館周知につながった。

開催課	行事名	日程	場所	対象	目標	参加数等	実施状況等
鳴尾図書館	おりがみ屋さん	月2回程度	鳴尾図書館	児童～	世代を超えたつながりを作り、関連する本を通して、読書や図書館に親しんでもらう。	10人/回	子供が折りたい作品を職員と一緒に折り、興味のある子供には折り紙の本を借りてもらう。継続している行事で子供の好きな折り紙を通して本への興味を引き出している。
	おはなし会	毎週水曜日、毎月第1火曜日、第2・4土曜日	鳴尾図書館	0歳～小学生、保護者	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しんでもらう。	1,112人	毎週楽しみに来られる固定の利用者がいる。おはなしは子供の空想力をはぐくみ、将来の読書につながると思われ、継続している。
	シオンおはなし会	毎月1回	児童デイサービスシオン	小学生～高校生	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しんでもらう。	60人	放課後等デイサービスで読み聞かせを実施。障害のある子供にも読書を楽しんでもらう図書館活動につなげたい。
北口図書館	みんなのすきな本おしえて！	4月7日(金)～5月7日(日)	北口図書館	主に小学生	子ども読書の日にちなみ、子供たちが本に親しみを感じ、読書へのきっかけとなること。	165人	記入用紙を掲示板に貼り付け、全体で1枚の大きな絵になるようにし、児童コーナーに展示した。自分の書いた用紙が展示されることで、子供たちの参加意識、読書意欲が高まった。
	えほんであそぼう「にじいろのさかな」	4月19日(水)	北口図書館	幼児、保護者	子ども読書の日にちなみ、子供たちが本に親しみを感じ、読書へのきっかけとなること。	37人	DVD上映の後、関連する絵本の読み聞かせや手遊び、魚をつくる工作を行った。様々な方法で物語に触れたことで、魚の工作の際には工夫を凝らす子供が多かった。
	10代のためのよむ処方箋	5月2日水～5日31日(木)	北口図書館	中・高校生	利用が少ないティーンエイジャーの図書館利用を促進する。	—	本の題名が分からないよう袋に入れて展示したところ、多数の貸出があった。読書量が減っている中高生を中心に本への興味を引き出すきっかけとなった。
	夢への一歩“憧れの職業”脚本家さんにきいてみよう！	8月1日(火)	北口図書館	主に中・高校生	利用が少ないティーンエイジャーの図書館利用を促進する。	35人	脚本家を講師に招き、仕事内容や職業等を選択した経緯を聞き、簡単に物語を作成するワークショップを行った。作家や演出に興味のある参加者が集まった。
	小学生のためのこわーいおはなし会	8月8日(火)	北口図書館	小学生、保護者	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	47人	おはなしボランティアの協力で開催。読み聞かせ、ストーリーテリング、手遊び、小道具を利用するなど様々な手法で行った。おはなしボランティアが夏に行う児童行事として定着している。
	ブックトークと工作教室“いるの？いないの？”	8月15日(火)	北口図書館	小学生	工作等を通して、夏休みの自由研究の参考となる主題の図書紹介につなげる。	17人	外国や日本、また空想の様々な怖いお話をブックトークで紹介し、子供たちの興味を惹きつけた。おぼけの工作も行い、関連本を紹介した。
	としょかんで世界いっしょ！	8月24日(木)	北口図書館	小学生、保護者	日本に住んでいる外国人を招いて、各国を紹介してもらうことにより、子供たちの多文化への理解を深める。	48人	国際交流協会との共催事業。フィリピンとカナダの方に講師をお願いして、母国について紹介してもらい、関連する絵本や読み聞かせ、クイズを行った。外国の文化や言葉を楽しく知る機会となった。
	みんなのPOP展	11月3日(金)～12月6日(水)	北口図書館	中・高校生	同年代が紹介する本を展示することで、新しい本に出会う機会とする。	264人	トライやるウィーク参加者や近隣の中学校から借用したPOP作品を展示し、来館者が良いと思った作品に投票する形式で展示を行った。

開催課	行事名	日 程	場 所	対 象	目 標	参加数等	実施状況等
北口図書館	おふろでほっこり	11月21日(火)	北口図書館	幼児、児童、保護者	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	33人	「おふろ」にまつわるおはなしを大型絵本や紙芝居、手遊びを交えて行い、その後おりがみ工作をした。通常のおはなし会を拡大して開催した。
	クリスマスおはなし会	12月19日(火)	北口図書館	幼児、保護者	季節にちなんだ集会行事を開催し、関連する本を通して読書や図書館に親しんでもらう。	30人	クリスマスに関するおはなしの大型絵本の読み聞かせや紙芝居等を行い、折り紙でサンタを作り、クリスマスツリーに貼り付けた。
	百人一首かるた大会	2月24日(土)	北口図書館	小学5年生以上の10代	利用が少ないティーンエイジャーの図書館利用を促進する。	22人	神戸大学の学生の協力により実施。中高生が憧れを抱く大学生が講師となってかるたの説明や対戦を行った。
	図書館のひみつ探検隊	3月27日(火)	北口図書館	小学生	図書館の施設や仕組みを知ることにより、子供たちの読書への関心を高める。	18人	館内見学や説明、各分類の本を紹介したため、様々な本に興味を持ってもらう機会となった。
	おはなし会	開館日	北口図書館	0歳～小学生、保護者	絵本の読み聞かせを楽しみ、読書に親しみを持ってもらおう。	7,928人	毎日おはなし会を行うことで、来館した子供がいつでも読書に興味を持てる環境を、ボランティアの協力により提供できた。特に0～2歳対象のおはなし会は毎回参加者が多く、好評を得ている。土・日曜のおはなし会は小学生までを対象にしているが、低年齢化しており、小学生は減少傾向にある。おはなしは、子供の空想力をはぐくみ、将来の読書につながると考え、継続している。
	StoryTimeえいごのおはなし会	5月27日(土)、7月22日(土)、9月23日(土)、11月25日(土)、1月27日(土)	北口図書館	概ね4～7歳	翻訳ではない絵本本来の文章のリズムや英語に触れる機会を作る。	173人	神戸女学院大学の協力により、英語を母語としている読み手による絵本の読み聞かせを行っている。小さな子供たちの姿もあり、保護者の英語教育への関心の高さを感じる。
中央図書館 山口分室	おはなし会	毎月第2木曜日	山口分室	幼児～小学生	絵本などの読み聞かせを通して、読書に親しみを持ってもらおう。	10人/回	おはなしを楽しむことで、本への興味につなげている。おはなし会が来館のきっかけになっている。